



令和3年9月1日
東京都立石神井特別支援学校

学校だより

あきらめない心

校長 柳澤 由香

新型コロナウイルス感染症の拡大状況が厳しさを増している中、新学期がスタートしました。これまでも、各々の、そして、皆の大切な命と健康を守るため、力を合わせて感染拡大防止に努めてきました。皆様の御協力に心より感謝いたします。

しかしながら、デルタ株による感染拡大状況は、今まで以上に強力で、デルタ株の脅威を正しく認識し、一層感染症対策の徹底を図る必要があります。今月を「対策強化月間」と位置付け、さらに感染症対策の強化に努めてまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

この夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されています。予定されていた学校連携観戦は、中止といたしましたが、これまで積み重ねてきたオリンピック・パラリンピック教育やテレビでの視聴等を通して、選手たちが最後まで全力で挑戦し、頑張り抜く姿を目にし、多くの感動と勇気、エネルギーをもらい、様々なことを考え、学ぶ機会を得ています。

私たちは、オリンピック・パラリンピック教育でオリンピック、パラリンピックの方々との出会いもありました。皆さん、夢や希望を叶えて行く過程では、数々の困難と向き合いながら、あきらめない心をもって、日々、努力を積み重ねて乗り越えて来られていました。そして、その夢の実現には、支える方々が存在し、その方々への感謝の思いを自らの力に繋げられていて、多様な人々が共に支え合うことの大切さを学びました。

大会開催中、「パラリンピックの父」と呼ばれているルートヴィッヒ・グットマン博士の「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」という言葉を耳にし、この考え方は、今の状況や様々な場面においても通じることだと思いました。失ってあきらめるのではなく、今ある状況を受け止め、前を見て可能性を最大限生かして未来を切り拓いていくことの大切さ。

今学期も、現下の厳しい感染状況を踏まえながら、感染防止対策の徹底と学びの保障の両立に努め、日々の教育活動を丁寧に積み上げ、児童・生徒たちが豊かな生活、夢や目標を実現するために身に付けたい力を育成できるよう取り組んでまいります。今後とも、保護者・地域・関係機関等の皆様の御理解・御協力をお願いいたします。